

## 五蔵周遊とイチゴ狩りツアー 参加者 吉井の初夏を満喫

5月1日(土)、「五蔵周遊とイチゴ狩りツアー」を実施しました。

昨年から構想を持ち、下見などを繰り返してきましたが、実施となるとやっぱり緊張は隠せません。企画は和田副会長を中心に行いましたが、スタッフをなかなか確保できない展が最大の悩み。自然相手となると、予期できない事故が心配でした。

さて、当日は予約なしの参加もあり、14名(＋幼児1、ワンちゃん1)、スタッフ4名の合計18名のツアーでした。

この日は、日差しは強いものの、さわやかな天候。10時開会行事の後、吉井砕石工業へ向かいました。



さわやかな初夏の道をゆく



強い力をいただく採石場

吉井砕石工業では所員のご案内を得ながら、場内を縦断しました。砕石の風景や柱状節理、また廃材のリサイクル現場も案内していただきました。

吉井採石場から大蜂農村公園へ抜けて、林道を五蔵大池に向かいました。道脇にはウドやタラの芽が見られ、涼しい初夏の香り。

五蔵大池はその湖底に当たるところに一面薄紅色のハマダイコンが咲き乱れていました。参加者もさることながら、同行してきたワンちゃんが、ハマダイコンの間を楽しくそうにぴょんぴょんとびはねている姿が、何とも楽しい光景でした。アキノレの木立も芽吹き始め、うっすら萌黄色に染まっていました。

昼食後、こうした光景にうっとりしながら、和田隆の「吉井クイズ」が始まりました。「吉井特産のイチゴはどの仲間?バラ?サクラ?イネ?」や「五蔵大池にあるたくさんある珍しい花木は?」といった内容で、吉井の素晴らしさを伝える10問でした。



見事なハマダイコンの群生

## 吉井で初めてのイチゴ狩り実現

五蔵大池を降りて最後のメニュー、イチゴ狩り。参加者の多くはイチゴの町吉井という期待もあって、楽しみに参加されていたようです。

今回、乙石尾の松永庄司さんに特別にお願いして「イチゴ狩りが実現しました。参加者は「おいしいおいしい」と口に頬張りながら、箱いっぱいイチゴを摘んでいました。

五蔵の里直販所の戻り、最後の会をして解散しましたが、参加者の表情やご意見からご満足いただ



イチゴ積みを楽しむ参加者

けたようで、主催者としてはホッとすると同時に、又企画したい思いを強く持ちました。

時期的に「4月20日ごろの方がいいのでは」「イチゴ狩りを考えると20名くらいがいい」などの反省点が出されています。